

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第116号 平成26年8月29日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 太田有香
発行責任者 竹迫昭弥

目次

農家さん訪問記 (100) 【宮崎・さといも、ごぼう他】 p. 1

落葉果樹の病害 その2..... p. 6

食の安全性について考える (42)

【30：生物農薬の開発】..... p. 9

畑のごはん「肥料の話」【スーパーSRコート】..... p. 11

良い農産物の作り方を考える④..... p. 13

今月のご相談から【ブラシフロアブル・プレオフロアブル・スミショート・バリダシン液剤5】 p. 15

農薬登録情報..... p. 16

農薬を正しく使おう！⑩..... p. 16

農薬ガイド解説辞典..... p. 17

続・ひまわり農園奮闘記⑦..... p. 18

【お知らせ】GPEC出展報告 他..... p. 19

美味しい時間へようこそ♪..... p. 20

バーチャルトライアスロンの旅 vol.12..... p. 21

編集後記..... p. 22



スイレンとハシビロガモ
富樫 信樹 画



農家さん訪問記(100)

宮崎県の先進的な大規模農家さん

「農家さん訪問記」を i-農力の企画として開始し、今回、100 回目を迎えます。これも読者のみなさまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。100 回目の節目に当たり、多くの農家さんの目標となって活躍されている方を訪問したらどうかということになり、今回、宮崎県小林市の有限会社四位農園（しいのうえん）四位廣文社長（62 歳）を訪問しました。

（訪問日：7月15日）



四位廣文社長（自社茶園をバックに撮影）

6 次産業の実践企業

四位農園は宮崎県宮崎市から車で1時間ほどの、霧島山の麓にある緑あふれる小林市に立地しています。本社、圃場、選果場および加工工場をこの地に構えられている、農家というよりも大規模な農産物の生産・加工会社です。栽培面積は240haほどで従業員は160名。沿革をお聞きすると、地元の農家として2~3haの栽培からスタートしその規模を拡大していき、1995年に農業生産法人となったとのこと。2008年に農林水産省主催の「第一回国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰」で、生産局長賞と農畜産業振興機構理事長賞を同時に受賞されています。栽培作物は、地元に適するさといも、ごぼう、ほうれんそう、茶、えだまめ、ケールなど多岐にわたります。



広大な小松菜畑

このように四位農園は農家というよりも生産加工会社ですが、今回、6次産業の実践者としてご活躍されている農家という意識で四位さんに色々とお話を伺いました。

まず、四位さんの経歴をお聞きしました。四位さんは、高校を卒業後、農林水産省の試験場に2年間研修されて農業を学んだとのこと。研修では施設栽培や果樹栽培を薦められましたが、地元小林市にはこれらの栽培よりも、土が柔らかい黒ぼく土壌という地の利を生かして“さといも”や“ごぼう”を露地栽培する適地適作を実践しようと思われたそうです。その後、「人と同じことをしてはダメ」と、関東で“さといも”の販路を探され、加工工場などとの取引を始められました。その際に、農産物を多量に利用する売り先を見出すことが重要であることを学んだそうです。このように、農産物を原材料として販売することからビジネスを始められましたが、販売先からの要望で農産物の加工も行っていくようになり、現在に至ったとのこと。



ごぼうの収穫

独自の品質管理

四位農園はISO9001認定農園であり、以下の「品質方針」を掲げておられます。

『四位農園は自然界の気候、大地を生かし
人間等の共生のための自然循環型農業を目指します』

- ・今不足しているものが何か調査して対応し続ける。
- ・本物の食品、すなわちそれぞれの個体としての機能を持った食品に育てて出荷し続ける。
- ・栽培するものは食しても、自然界に放置しても安全である形で栽培し続ける。
- ・農業界での自然原理の理解に邁進し、それを地域に開示し後世に継承し続ける。
- ・コスト削減を最大限に行い、会社の経営は常に黒字経営を維持する。



堆肥散布

この「品質方針」のもと、農薬削減のみならず、雑草や残作物の処理などを含めた自然に根ざした循環型農業を重要視しており、更に、農業に対する地域の人達との対話を進めることで理解を得ることに尽力されています。更に、市場調査をもとに一次加工品の生産を開始し、現在はカット野菜、乾燥野菜、冷凍野菜に加え製茶も手掛けています。

四位農園の特色の1つは、ISO（規格・標準を設定する国際標準化活動）やGLOBAL GAP（世界中の農・畜・水産物を審査する総合的な適正農業規範（GAP）基準）などの国際規格を取得していることです。取得した目的は、販路拡大という外部向けではなく、農園を会社として運営するに当たり、独りよがりではなく外部の基準で管理し自らが向上する体制にしたい、との考えがあったため。ISO9001取得の際は、農業版が無く言葉の意味さえもよく分からない状況でしたが、工程表を全部ご自身で作成し、作業を手順書に落とし込んだということです。

自然循環型農業



堆厩肥舎

「品質方針」に「四位農園は自然界の気候、大地を生かし人間等の共生のための自然循環型農業を目指します」とあります。旬の野菜を自然の気候の元、適地適作で栽培する、ここに四位農園の考えが明確に示されています。堆厩肥を自前で生産し、農場に還元して自然循環型農業を実践し、加えて栽培コストの削減に努めています。堆厩肥舎は2か所あり、その内1舎を見学しました。農場で発生する収穫物に牛糞や鶏糞を混ぜて堆厩肥を生産する方法は一般的ですが、堆厩肥舎は

清潔に保たれ、堆肥の温度も管理されていることから、堆厩肥が良質であることは容易に推察されます。堆肥は肥料効果が穏やかに長く続くのが良い、とのご指摘はまさに栽培農家です。農薬に関しても、散布時期や手順をマニュアル化して効率の良い散布を心掛けています。

清潔な加工工場

選果場や加工工場も見学しました。訪問した日は丁度、ごぼうの選果作業を行っていました。収穫されたごぼうをラインに並べ、女性スタッフの方々がてきぱきと根の長さを揃える作業を行っていました。選果されたごぼうは、加工されるまで冷蔵倉庫に保管されるとのことで、冷蔵倉庫には袋に包まれたごぼうが整然と保管されていました。



ごぼうの選果作業

2012年に操業を開始した最新の高原加工工場も見学させていただきました。お話を聞くと、農場の背後にある霧島山新燃岳（しんもえだけ）が2011年1月に噴火し、農場にも火山灰が降って被害を受けたことから、この地で工場を増設することはリスクが高いと判断し、計画を一旦白紙に戻したそうです。しかし、その2か月後に東日本大震災が起り、日本国内を見渡すと小林市のこの地に工場を有する重要性を再認識し、白紙に戻した加工工場の設置を再スタートして、2012年に完成し、操業を開始したとのことでした。



冷蔵倉庫に保管されているごぼう



高原加工工場

工場では、さといもや枝豆、冷凍野菜の加工を行っています。訪問時はこれからかぼちゃの加工作業を始めるところで、農場で収穫したばかりのフレッシュなかぼちゃがケージ内に集められ並んでいました。洗浄した後、カット作業を行います。工場は整理、整頓、清掃（3S）が行き届いており、作業工程指示や注意事項が作業現場簿壁に貼り付けられるなど、まさに食品工場という感じで、我々も衛生キャップをかぶつての見学です。



集荷されたかぼちゃ



加工工場内の作業機

産業としての農業を目指して

最後に2つ質問させていただきました。一つは、四位さんのような大規模農場経営を夢見る若い人も多いと思うがその人たちにアドバイスはありますか、という質問。四位さんから、「まず栽培について基礎から学習してほしい。時間がかかるが、最初の情熱だけでは立ちいかなくなる。忍耐をつけ鍛えてから農業を目指してほしい」、との回答。今後の目標について伺うと、「食料を作る人が少なくなっていることを痛感しており、農業への思いはあるが農業を生きがいにする人が少なくなっていることから、国内で生産できる体制および人づくりを目標にしている」、とのこと

5S 活動スローガン
(選果場)

でした。「消費者は眼、耳、鼻、口からの情報で何を買うかを判断し、身体の中に入って良いものを買うという考えにはなかなかならなかったが、それも最近は変わりつつある。食べるものを作る農業の将来に希望があると考えている。そのためにも、優秀な人を集めるために会社の給与を同じ業態でまず宮崎県でナンバーワン、最終的には日本でナンバーワンを目指したい」と言われました。更に海外への展開については、香港や台湾への輸出も視野に入れておられました。農薬メーカーとしての住友化学に対しては、農薬の効果的な使い方や、どの銘柄を使うのが最も効率的で有効なのかを是非教えてほしいとの要望を受けました。病虫害がどのように発生するのか、そこから若い人たちに教えてほしいとのことでした。

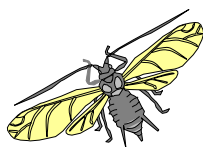


肥料勉強会

お忙しい中、丁寧に説明いただき、また、工場を案内いただいた四位さんに感謝するとともに、日本農業の発展のために更にご活躍されることを祈念して、四位さんとお別れしました。

(泉、藤田、久保田)

さといも



ごぼうの害虫防除に



アディオン[®] 乳剤

[目次へ戻る](#)

落葉果樹の病害

—その2 なしの主要病害—

技術顧問 深谷 雅子



我が国では、「幸水」や「豊水」、「二十世紀」などの日本なしと「ラ・フランス」や「ル・レクチェ」などの西洋なしが主に栽培されています。いずれも秋の味覚として人気の高い果物ですが、病気に弱い性質を持っています。ここでは発生が問題になっている病害をいくつか紹介します。

黒星病

日本なしのほとんどの品種に発生します。EBI 剤の普及以降、発生は抑えられてきましたが、近年、漸増傾向を示しています。

〔発病のようす〕

芽りん片、芽基部、花(果)そう基部、葉、果実、新梢に発生します。発病部位には黒く、すす状の病斑が現れます。図1は落花後の果そう基部の病斑です。この病斑には、たいてい発病した「りん片」が付着しています。葉では初め黄白色の小さな斑点が現れ、しだいにすす状の黒い斑点になります。病斑は葉脈や葉柄にも現れます(図2)。葉での発生は秋まで続きますが、盛夏期には一時停滞します。果実では幼果期から発生し(図3)、果実の肥大にともなって病斑部は凹み、亀裂を生じることもあります。「幸水」の果実は本病菌に弱く、生育後半にも感染して発病します(図4)。



図1 果そう基部の発病

図2 葉の発病

図3 幼果の発病

図4 果実の発病

〔発生生態〕

伝染源は越冬した被害落葉に形成された子のう胞子と芽りん片に形成された分生胞子です。いずれの胞子も雨によって飛散し、開花期前後に降雨が多いと、感染が助長され、多発します。また発病した葉や果実に形成された分生胞子(すすのように見える)によって二次伝染が繰り返されます。

〔防除方法〕

落葉は集めて土中に埋め、処分します。開花前から落花 10 日後頃までが重点防除時期です。この期間に降雨が続く時は、散布間隔が 10 日を超えないようにします。EBI 剤(アンピルフロアブル 2000 倍など)、イミノクタジンアルベシル酸塩剤、キャプタン・有機銅剤などを散布して防除します。なお EBI 剤は多用、連用により耐性菌出現の恐れがあるので、年間

の使用回数を 2～3 回とし、作用機作の異なる他剤と混用するかローテーション散布を行います。

② 黒斑病

「二十世紀」、「南水」等に発病します。「幸水」や「豊水」は抵抗性品種であり、発病しません。「二十世紀」は特異的に発病しやすいため、黒斑病に強い品種「ゴールド二十世紀」が育成され、その栽培が普及しています。

[発病のようす]

葉、果実、新梢に発生します。

葉には黒く丸い斑点を生じます。展葉間もない若い葉に黒色で小さな円形の斑点が現れます。この斑点はしだいに同心輪紋状に拡大し灰色になります。病斑が多数現れ、激しく発病すると落葉します。

果実は幼果期から成熟期まで発病し、黒く、ややへこんだ斑点を生じます。果実が肥大するにつれ、斑点を中心にひび割れ、しだいに縦横に亀裂が入り(図 5)、落下します。

枝では新梢の先端に近い部分に灰黒色の斑点が現れます。また新梢の中間部から基部に至る部位や 2 年生以上の古い枝には赤褐色の斑点が見られます(図 6)。

[発生生態]

第一次伝染源は枝病斑と枯死した芽に形成された分生胞子で、これが風雨によって飛散し、葉や果実に感染します。発病した葉や果実上には分生胞子が形成され、二次伝染が繰り返されます。分生胞子の形成、飛散には高温多湿条件が適し、5月下旬から7月に多量の分生胞子が形成されます。

[防除方法]

本病菌は強い毒素を出して葉や果実の細胞を黒変させ、落果や早期落葉を引き起こします。そのため防除は薬剤だけではなく、果実への袋かけなどを併用して感染を阻止します。落花後から被袋前までの時期と 6～7 月の梅雨期が薬剤による重点防除時期です。

使用する薬剤は、イミノクタジンアルベシル酸塩剤、キャプタン・ポリオキシシン剤、キャプタン・有機銅剤、ジチアノン剤などです。

③ 輪紋病

日本なし、西洋なしともに発生します。果実発病は収穫期近くから見られ、発病果は軟化、腐敗します。特に西洋なしは本病に罹りやすく、主に追熟後に発病してきます。枝には、いぼ状の突起物を形成することから、別名「いぼ皮病」とも呼ばれます。病原菌はリンゴにも寄生します。近年、発生は増加傾向を示しています。

[発病のようす]

枝、果実、葉に発生します。

枝には、いぼ状の突起が現れ、年数を経るといぼの周辺に亀裂が入り、座布団状の病斑になります(図 7)。いぼ病斑には黒い小さな粒(柄子殻)が多数形成されます。



図 5 果実の発病 (裂果症状)



図 6 枝の病斑

果実には収穫期に黒褐色の斑点が現れ、しだいに拡大して同心輪紋状の病斑を形成します(図 8、9、10)。その後果実は軟化し、腐敗します。

葉には褐色で同心輪紋状の斑点を生じますが、発病は少なく、ほとんど問題になりません。



図 7 枝のいぼ病斑



図 8 初期病斑(幸水)

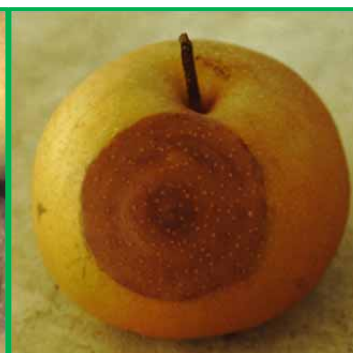


図 9 拡大した病斑(幸水)



図 10 追熟後の発病

[発生生態]

伝染源はいぼ病斑に形成された柄胞子で、雨によって飛散します。柄胞子は果実に達すると果点から侵入し、感染します。未熟果では発病しませんが、成熟期に近づくと病斑が現れ、急激に拡大して軟化します。また新梢には柄胞子が皮目や小さな傷から侵入し、長い潜伏期間を経て、いぼ病斑が形成されます。いぼ病斑の形成時期は早ければ年内ですが、北東北では一般に翌春です。いぼ病斑には、柄胞子が少なくとも 7 年間、繰り返して形成され、伝染源となります。柄胞子の飛散は概ね落花後から成熟期まで続き、飛散量は梅雨期に多くなります。

[防除方法]

- ・いぼ病斑の多い枝を切り取り、園内から持ち出し、廃棄処分します。
- ・主幹や主枝のいぼ病斑を削り取り、その跡に塗布剤を塗って保護します。
- ・6～8 月に果実や新梢への感染を防止するために、薬剤による防除を 7～10 日ごとに行います。特に 6～7 月に高温で多雨の気象条件になると感染が多く起こり、多発する恐れがあります。降雨が続く時は、散布から次の散布までの間隔を短縮します。
- ・使用する薬剤はキャプタン・有機銅剤、キャプタン・ベノミル剤、キャプタン剤、イミノクタジン酢酸塩・有機銅剤、ピラクロストロビン・ボスカリド剤などです。



<雑記 ～西洋なしの追熟～>

西洋なしの果実は、収穫適期に採ったものでも果肉がガリガリと固く、味も香りも劣ります。しかし、これを追熟するととても美味しく食べることができます。産地では収穫した果実を 0～4 の冷蔵庫に 1～2 週間入れて冷やし、その後 20 の温度に 3～4 日置いて食べ頃の果実になっています。

果皮の緑色が消えて黄色になり、果肉も軟らかくなった果実は、口に入れると芳香が広がり、とても滑らかな舌触りです。店頭には並ぶ西洋なしの多くは、食べ頃を表示したシールが貼られています。食べ頃を見極めて極上の味を楽しみたいですね。

[目次へ戻る](#)

食の安全性について考える(42)

③〇 生物農薬の開発

農薬を取り扱うにあたり、大きな3つの安全性が問われることになる。

第1は、農薬の取扱者すなわち農薬の製造、散布作業などに従事しているものが被害にあう場合。第2に、農薬が作物に残留し、それが摂取されて人体に影響を及ぼす場合。第3に、農薬が自然環境や生態系に及ぼす影響などについてである。特に、近年は環境運動の高まりとともに農薬への関心も一段と強まっている。それらのことを踏まえ、農薬の安全性について、わかりやすく解説した農薬工業会編「なるほど！なっとく！農薬Q&A」をしばらく掲載したい。(古津)



絵：加藤さん

Q：なぜ生物農薬が開発されるようになったのですか。

A：生物的防除法、生物農薬の考え方は古くからありましたが、以下に述べるような時代的背景のもとに、環境調和型と考えられる生物農薬を開発し、化学農薬を補完し、共存する技術とする事に注目が集まりました。化学農薬に頼り世界的に食糧増産の成果を上げましたが、1970年代には地球環境問題への関心が高まったこと。農業分野では、肥料や農薬による環境への影響が懸念される様になったこと。1990年代には、市民生活や産業界として、環境負荷の低減を目指す様になったこと。また、化学農薬の抵抗性害虫や耐性菌が一部で問題になってきて、有効な防除手段が必要になったことも背景にありました。1995年に、生物農薬の農薬登録要件が整備されたことや、広義のバイオテクノロジーの発達も、技術的・商業的に生物農薬の開発を可能にしたことが背景にあると言えます。

古代中国では、ミカンの害虫の天敵である「養柑蟻」あるいは「黄赤大蟻」というアリを利用していい、その記録は晋代の西暦304年に著された「南方草木状」という書物まで遡るといわれています。

農業はその初めから病虫害や雑草との戦いという面があり、あらゆる方法が動員されてきました。生物的防除法も長い間に農業技術として定着したものや糸状菌製剤のように古くから使われてきたという例もあります。しかし、効果が不安定、速効性や持続性がないなどの欠点があり、第二次世界大戦後、優れた効果をもつ化学農薬が登場すると、病虫害や雑草は化学農薬で防除する方が効率的になりました。

化学農薬は、第二次世界大戦後の世界的な食糧増産の要請に大きな貢献をし、飢えや疾病から多くの人を救いました。しかし、DDT、BHCなどの環境中で分解しにくい有機塩素系農薬の残留性が問題化したことも事実です。その後、新しい作用性を持つ優れた化学農薬が上市されましたが、それらの連用により、一部の病虫害に対する抵抗性、感受性の低下が、特定の地域や化合物群で問題となりはじめました。そのため生物農薬は、有効な防除手段の一つとして期待されるようになりました。

1970年代になり地球環境への関心が高まると、農業の分野でも、肥料や農薬の使用による水や土壌の汚染が懸念されるようになり、90年代に入ると、市民生活や産業活動の課題として、環境への負荷を軽減することが重視されるようになりました。農業分野でも、アメリカでは低投入持続型農業、EU諸国では粗放化農業が提唱され、日本では、生産性の向上を図りながら環境への負荷の軽減に配慮した持続的な農業、環境保全型農業の推進が国の農業政策の大きな柱となりました。そのための技術開発として「天敵利用による防除」もあげられています。

1995年に、生物農薬の登録要件（農薬取締法による農薬として登録されるのに、必要な試験成績の内容、試験事例数）が整備されたことや、公的機関での生物農薬の効果試験の評価手法が確立されたことから、開発が進みました。

なお、使用場面などの制約があり、生物農薬の使用は全体からみれば少ないのが現状です。近年、新たな用途に対応する剤の開発が続き、さらに、有機農産物のJAS規格が制定されたこと、特別栽培農産物のガイドラインが示されたことで、これらの需要が拡大し、水稻の種子処理剤、BT剤を中心にその使用量は徐々に増加しています。

参考資料

- * 深海浩宏『変わりゆく農薬』1998、化学同人
- * 日本農薬学会『農薬とは何か』1996、日本植物防疫協会
- * 梅津憲治、大川秀郎『農業と環境から農薬を考える』1994、ソフトサイエンス社
- * 内田又左衛門『持続可能な農業と日本の将来』1992、化学工業日報社
- * 大串龍一『農薬なき農業は可能か』1972、農山漁村文化協会
- * 農薬要覧



絵：加藤さん

[目次へ戻る](#)

畑のごはん 「肥料の話」

麦にもスーパーSRコート肥料

被覆肥料を配合したいわゆる元肥一発肥料は、水稻では既に栽培面積の50%以上に使われている地域も多く、肥料の定番として定着しています。住友化学は、独自の幅広い被覆肥料のレパートリーを活用して、水稻分野だけではなく、園芸や花卉、緑化など幅広い分野に専用のスーパーSRコートを販売しており、長期間肥効が持続する肥料として好評をいただいています。今回、この中で評判が良く広く使用いただいている麦用のスーパーSRコート肥料について、滋賀県および福井県で販売されている高岡屋さんに同行し、収穫前の生育状況および麦用一発肥料の性能について聴取してきました。

最初に、麦用スーパーSRコートの特長を紹介します。麦は冬期に栽培する作物で、冬の気温の低い時期に肥料を効かす必要があります。また、麦の生育が旺盛となる春からも肥効を高める必要があります。また、麦は地域により施肥時期が異なり、10月上旬に施肥する寒冷地から12月に播種する温暖地まで播種時期が長く、肥効を各地域の栽培体系に合わせる必要があります。住友化学は、そのために、冬期でも確実に溶出する溶出タイプの被覆尿素を各地の栽培体系や気温の推移に基づき配合し、地域や品種専用の一発肥料を提供しています。また、麦は播種と同時に機械施肥するので、施肥量を少なくすることが省力化に繋がります。そこで、40kg/10aで各地域の施肥窒素量が賄えるように窒素成分を高くし、成分が30-7-7や35-4-3などの超L字型の元肥一発肥料を販売していることも特長の一つです。



ムギ用077チラシ

スーパーSRコートの状況を聴取すべく、まず、琵琶湖湖畔に位置する滋賀県彦根市で麦を栽培している寺井徳信さんを訪問しました。寺井さんは小麦および大麦合わせて7.2ha栽培しています。品種は、小麦はふくさやか、大麦はイチバンボシです。滋賀県は、小麦品種は農林61号が多いですが、この地域は倒伏し難いふくさやかを選んでいるとのこと。生育について、昨年は非常に良く、平年は375kg/10aのところ405kg/10aであったと。今年の麦の生育は、春先が低温であったが回復し、まあまあのできということです。滋賀県では11月上旬に播種するケースが多く、条播で肥料は播種時に同時に溝施肥していると。肥料はスーパーSRコートムギ用077(30-7-7)を40kg施肥しています。

スーパーSRコートの肥効に関しては満足しているとのことですが、滋賀県の小麦栽培の課題として、タンパク質含量を11%程度まで上げることが求められおり、タンパク質含量を上げるために、5月上旬に実肥として尿素または硫酸を施用しているとのこと。トータル施肥チツソ量は、14~15kgです。外国産の小麦はタンパク含量が高く(14~15%)、それゆえ、日本産の小麦とブレンドして適性なタンパク含量に調整することが普通であり、その意味で日本産の小麦は重要。病害虫に関しては赤かび病が問題で、赤かびに罹ったら品質が著しく劣化するので、開花期に2回、ラジコンヘリで殺菌剤を散布しています。収穫日は6月に調査して決定するとのことですが、6月中旬ごろに収穫し、その後は大豆を栽培すると。大豆にも住友化学のスーパーSRコート大豆用060(30-6-10)を使用します。施肥量は25kg/10a(チツソ量で7.5kg/10a)です。大豆は追肥が大変で、中耕で対応する場合もあるが、肥料を動噴で散布すると葉が肥料

焼けするので追肥は行わないと。水田と合わせて 15.5ha ほどを、農業を志す若者と休日は息子さんと合わせて 3人で管理するとのことですが、今後ともお元気でご活躍されることを期待して止みません。



寺井さんとその圃場



麦の圃場が広がる滋賀県彦根市

次の日に福井県大野市を訪問しました。大野市は福井県の山間部に位置し、白山の麓で九頭竜川が流れ、緑にあふれ歴史のある町です。大野市では主に大麦が栽培され、品種はファイバースノウとのこと。訪問時は収穫直前で、黄金色に実った大麦が日の光に輝いていました。大野市の大麦にもスーパーSRコートMギ用077を使用いただいております。標準施肥量は 35 kg/10a です。播種は 10月中旬。化成肥料を用いた分施体系では、元肥、年内追肥および穂肥 2回の合計 4回の施肥作業がありますが、スーパーSRコートで施肥作業が省力化され、肥効も優れているので好評とのこと。最も注意している品質は、去年はスーパーSRコートで Aランクであったと。Aランクを得るためには、4項目、すなわち容積(690g/斗以上)、細麦率(2.2mm篩下に 2.0%以下)、白度(43以上)および硝子率(40%以下)の内 3項目で許容値を達成する必要があると。特に硝子率を下げることを目指しているとのこと。硝子粒とは、大麦の子実を半分に切った断面が半透明状態になっている粒のことで、加工適性に劣り業者から敬遠されると。硝子粒はタンパク含量が高いほど高まる傾向にあり、穂肥の多肥や遅すぎる追肥が要因になるので、適正な施肥量を守ることが重要です。

農家さんの圃場をお借りして他社一発肥料と比較しているとのこと、試験圃場を訪問しました。写真の左の圃場がスーパーSRコート、右の圃場が他社一発肥料。畔から見ると差は感じられませんが、調査結果からスーパーSRコート区は穂が長いと。スーパーSRコートの肥効が大野市の大麦栽培に適していることを実感し、今後も大野市の大麦栽培に貢献することを期待して、新緑の大野市を後にしました。

(泉)



大麦の肥効試験。左がスーパーSRコート077、右が他社肥料

[目次へ戻る](#)

良い農産物の作り方を考える

堆肥施用と微量元素

堆肥には作物の生育に必要な微量元素が十分含まれている。堆肥を施用しておけば、微量元素施用は省かれる。・・・農家の多くがこのように考えています。ところが、違うのです。

表1 作物による微量元素吸収量と堆肥の含有量(三浦半島の事例)

岡本保(1997)

元素	作物による吸収量 (g/10a)			堆肥中含有量 (現物1tあたりg)		
	冬 ダイコン	春 キャベツ	合計	最小	平均	最大
B	32.1	36.9	68.9	2.1	9.1	16.9
Mn	13.3	19.6	32.9	105	137	167
Fe	100.8	100.5	201	148	2430	5902
Co	0.136	0.129	0.265	1.31	2.01	3.37
Ni	0.776	1.89	2.66	2.28	4.5	7.48
Cu	6.68	6.88	13.6	9.9	25.1	69.5
Zn	14.8	21.3	36	52	110	199
Mo	0.397	0.335	0.732	0.44	0.93	1.67

●表1は神奈川県農技センターの岡本保さんのデータです。

三浦半島で使用されている家畜糞堆肥の微量元素含有率とそこで栽培されている冬ダイコン、春キャベツが吸収する微量元素量が記載されています。ホウ素(B)以外は十分堆肥には含まれています。ここで、まず一つ学んでおきましょう。アブラナ科野菜であるダイコン、キャ

ベツはいずれもホウ素をよく吸収する作物ですが、堆肥を施用していてもアブラナ科野菜にはホウ素施用は必要です。

●汚泥堆肥や豚糞堆肥は銅や亜鉛の含有率が高いです。ここでは農業集落排水汚泥を主原料にしたコンポストでの試験事例を表2に示します。コンポストの施用量が増えると土壤中の0.1M

塩酸可溶のカドミウム、銅、亜鉛が増加しています。しかし、キャベツ体中のこれら元素の増加率はそれほどではありません。有機物はこれらミネラルの吸収抑制作用があるのです。

特に銅含有率は低下しています。これら元素の中でも銅は有機物との結合力が強く、

土壤中で不溶化してしまい、作物に吸収されにくくなるのです。銅欠乏対策に有機物施用は効果がないばかりか、銅欠乏を助長します。

●マンガンでも同じ傾向があります。兵庫県の多数の農家で実際に問題になったことですが、軟弱野菜栽培地の堆肥多量連用圃場で、シュンギクに葉の周辺が黄化する症状が多発しました。試験場の担当研究員が3代にわたり10年あまり研究しましたが原因不明でした。たまたま転勤してきた食品加工専門の研究者、永井耕介さんがマンガン欠乏である事を発見しました。土壌分析するとマンガンは多くあり、土壌肥料専門家はまさかマンガン不足とは考えられなかったのです。症状葉は無症状葉より若干マンガン含有率が低かったため、永井さんがマンガンの葉面散布をすると症状は発生しなくなりました。

表2 汚泥コンポスト施用量の重金属含有率への影響

松山稔・青山喜典(2002)

コンポスト 施用量 (kg/10a/年)	キャベツ 収量 t/10a	土壌 pH*	土壌0.1M塩酸抽出 (mg/kg乾土)			キャベツ外葉部 (mg/kg乾物)		
			Cd	Cu	Zn	Cd	Cu	Zn
無施用	2.75	5.6	0.10	3.8	7.0	0.54	2.5	21
600	3.25	5.8	0.12	6.1	11.2	0.50	3.4	36
1200	3.02	5.8	0.13	6.6	13.7	0.39	2.4	26
2400	3.08	5.8	0.17	10.4	24.9	0.46	2.0	50
4800	3.11	5.8	0.20	13.7	34.0	0.53	2.0	40

注 1998年キャベツ作りコンポスト施用継続試験, 3年目, 夏は稲作

*土壌pHは水稻作跡地の値, その後, キャベツ定植前に苦土石灰を100kg/10a施用

表3 堆肥施用土壌の乾燥処理と可溶性Mn量の変化

渡辺和彦ら(2003)

処理区	水溶性Mn mg/kg DW			交換性Mn mg/kg DW		
	生土	生風乾	熱乾	生土	生風乾	熱乾
無堆肥	0.12	1.87	4.38	1.61	5.72	19.95
堆肥1t	0.11	1.75	6.12	0.99	6.12	24.65
堆肥3t	0.07	0.75	7.08	0.93	4.19	31.20

処理区	ATP nmol/g soil DW [*]			水分 %		
	生土	生風乾	熱乾	生土	生風乾	熱乾
無堆肥	0.33	0.03	0.01	25.5	3.0	0
堆肥1t	0.76	0.06	0.00	26.7	4.7	0
堆肥3t	1.55	0.14	0.02	38.9	10.2	0

注：供試土壌は場内堆肥連用土壌。生土を室内で1週間放置乾燥したものを生風乾、105℃にて乾燥したものを熱乾とした

^{*}ATP(アデノシン三リン酸)：微生物活性の指標

●表4は近畿中国農研の堀兼明さん達の発見です。牛糞や豚糞堆肥連用区では、土壌中の亜鉛分析値は堆肥無施用の化学肥料区より、タマネギの亜鉛含有率は低いです。家畜糞に含まれる多量のリン酸が亜鉛を不可給化しているのです。

●『有機物の多い土でも窒素、リン酸、カリ

に加えて銅、モリブデン、亜鉛などの微量元素を添加することによって生産力の高い水田に変わることが知られている。』これは「作物の健康」（八坂書房2003年、中村英司訳）からの引用です。同書はフランスで発行された図書です。世界の常識と日本の常識は違っていました。堆肥を施用していても微量元素は施用した方が良い農産物ができるのです。

執筆 渡辺和彦（兵庫県立農業大学校・元東京農大客員教授）

ここでは試験場内の堆肥連用土壌での分析例を示します（表3）。通常、乾燥した土壌で分析をおこないます。堆肥を毎年多く施用する土壌ほど、乾燥土壌ではマンガン含有率は高いですが、生土では逆になっています。生土では生きた微生物が多く、この微生物がマンガンを作物が吸収できない形態にしていました。大発見と喜びましたが、ケンタッキー大学の講義録にはよくある事例として記載されており、世界では常識でした。

表4 家畜糞堆肥19作連用試験圃場のタマネギ球部亜鉛含量と土壌の全・可溶性亜鉛

堀兼明ら(2005)

	化成	牛糞			豚糞		
	1 [*]	0.5	1	3	0.5	1	3
タマネギの亜鉛	41	11	13	21	17	17	34
土壌の全亜鉛	78	78	82	97	87	100	135
土壌の可溶性亜鉛	7	9	13	26	15	30	81

注：*17作までダイコン、以降エダマメとタマネギの交互作。堆肥毎作施用。化成はN=18kg/10a 堆肥はT-N相当量 0.5:半量区 3:3倍量区 牛糞:稲わら牛糞堆肥 豚糞:おがくず豚糞 亜鉛の単位はppm マルチ栽培。土壌の可溶性亜鉛は、0.1M塩酸抽出

[目次へ戻る](#)

「知りたい！聞きたい！農薬・肥料」のお客さま相談室より

今月のご相談から

1. 大分県 農家の方

Q：ブラシンフロアブルの300倍では散布量が25L/10aとなっています。この散布量では動力散布機では均一に散布できません。どうするのですか。

A：本剤の300倍、散布量25L/10aは乗用型速度連動式液剤少量散布装置（パンクルスプレー等）で散布する場合の規定です。動力散布機の場合は1000倍、散布量60～150L/10aです。



2. 静岡県 農家の方

Q：インターネットでプレオフロアブルが「未成熟とうもろこし」に使えることを調べ、購入してきたがラベルに記載されていません。何故ですか。

A：本剤は「未成熟とうもろこし」に平成26年3月10日付けで適用拡大になっていますので、昨年までに生産した製品のラベルには記載されていませんが、「未成熟とうもろこし」で使用することに問題はありませぬ。登録内容は、「未成熟とうもろこし」/オオタバコガ/1000倍/収穫前日まで/2回以内です。

3. 新潟県 農家の方

Q：コシヒカリを栽培しています。スミショート14とスミショート21がありますが、どう違うのですか。また、いつ施用したら良いのですか。

A：施肥チッソ量を各々の地域の栽培特性に合わせてために、スミショート14は10kg/袋、スミショート21は15kg/袋となっており、各々1袋/10a施用すると、倒伏軽減剤が1.2g/10a施用されるようになっており、稈長が10cmほど短くなるので倒伏が軽減されます。施肥時期は、スミショート14が出穂25～10日前、スミショート21が出穂前25～20日です。



4. 新潟県 JAの方

Q：にら栽培農家からの質問ですが、バリダシン液剤5の使用時期が「刈り揃え前まで」と表示されていますが、どのように理解したら良いでしょうか。

A：バリダシン液剤5の「刈り揃え前まで」は、にらの収穫物でのバリダシン液剤5の残留をゼロとするための使用法です。にらは株養成期には生育が不揃いになるため、一旦、刈り揃えて、その後の生育部分を収穫します。バリダシン液剤5はこの刈り揃え前までに使用することで、収穫物での残留のリスクを避けています。

(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

7月23日の適用拡大の内容です。

詳細はここをクリックしてください。

<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2014.html>

○殺菌剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
ダコニール1000 (2014/7/23)	使用時期	ふき	収穫45日前まで	収穫 21 日前まで
	病害追加	ミニトマト	疫病、輪紋病、 葉かび病、炭疽病、 灰色かび病、すすかび病、 うどんこ病	疫病、輪紋病、葉かび病、 炭疽病、灰色かび病、 すすかび病、うどんこ病、 斑点病
		ねぎ	黒斑病、べと病、 小菌核腐敗病、 葉枯病	黒斑病、べと病、小菌核腐敗病、 葉枯病、 さび病
		わけぎ	葉枯病、黄斑病	葉枯病、黄斑病、 白斑 葉枯病、さび病
		にんにく	葉枯病、黄斑病	葉枯病、黄斑病、 白斑 葉枯病、さび病

(山脇)

[目次へ戻る](#)

ひげ仙人の

農薬を正しく使おう！ ⑩i-農力サイトに掲載している「[農薬の適正使用](#)」について、順にご紹介します。**正しく使わないと犯罪です！**

農薬使用の遵守義務を怠ると、懲役や罰金が科せられる場合があります。



●農薬使用基準

遵守義務

- 食用作物・飼料作物への農薬使用の遵守義務
 - 適用作物への使用
 - 使用量又は濃度の範囲内
 - 使用時期
 - 総使用回数の範囲内
- 以下の者は農薬使用計画を毎年度農林水産大臣に提出
 - くん蒸農薬使用者 ※
 - 航空散布の農薬使用者
 - ゴルフ場の農薬使用者

上記義務を遵守することで人と環境への安全が確保されます
 上記義務を遵守しないと・・・
 懲役3年以下／罰金100万円以下



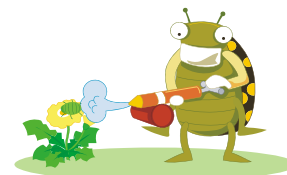
※ 自ら栽培する農作物等に使用するものは除く

努力義務

- 散布履歴の記帳
(散布日、散布場所、作物、農薬の種類・濃度・量)
- 水田使用農薬の止水期間(7日間)遵守
- 住宅地周辺での飛散防止
- 土壌くん蒸剤の揮散防止と被覆期間の遵守
- 有効期限切れ農薬の不使用

次回は・・・「住宅地で使うときはこんなことに注意！」

住友化学農薬ガイド 解説辞典



弊社の農薬ガイドの「適用と使用法」欄を正しくご理解いただくために、このコーナーを始めました。下記の製品名の横の表示は引用した農薬ガイド(2014年版)のページをご覧ください。

8. 「使用方法」についてー(1)

登録の「使用方法」は、効果試験で用いられた処理方法を基に、記載されています。

(1) 種子、種いも、苗等の消毒

この処理方法には、浸漬処理、粉衣処理、吹き付け処理、塗沫処理などがあります。また、処理の対象も、種子(稲)、種いも(ばれいしょ)、球根(らっきょう)、苗(かんしょ)などがあります。それぞれの方法、作物を確認してご使用ください。

今回は、特殊な吹き付け(散布)をする「こんにやく」および「ばれいしょ」の種いもを切断した際の取り扱いについて説明します。

(1) こんにやく

・スターナ水和剤(P. 184)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法
こんにやく	腐敗病	1000 倍	100~300L	14 日前	散布
		30~100 倍	種いも 1 m ² あたり 150ml	植付前	種芋 吹付け処理

種芋吹付け処理では、種いもを互いに接触しないようにシートなどに並べ、1 m²あたり薬液 150ml を種いも全体に散布する。薬剤処理後、風乾してから植付けてください。

・ベンレート水和剤(P. 249)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法
こんにやく	乾腐病	50~100 倍	—	植付前	種芋の 芽基部に散布

植付直前に、種いもを重ねないでシートなどに拡げ、なるべく種芋の芽の基部を中心に均一に散布する。薬剤処理後、風乾してから植付けてください。

(2) ばれいしょ

・バリダシン液剤5(P. 222)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法
ばれいしょ	黒あざ病	200 倍	—	貯蔵前 又は植付前	瞬時~10 分間 種いも浸漬 又は 種いもに散布
	青枯病	500 倍	100~300L	3 日前	散布

切断した種いもを使う場合は、切断面が乾いてから薬剤処理を行い、薬剤処理後、風乾してから貯蔵するかまたは植付けてください。(花井・山脇)

[目次へ戻る](#)

続・ひまわり農園奮闘記

8月できゅうりは収穫を終え、トマトの実も残りわずかとなりました。今年はなすが順調に育ち、毎日美味しく食べています。なす作り(写真-1)が順調なのは、果実が大きくなり過ぎる前に、小まめに収穫していることだと思います。採れたなすは果皮が薄く、果肉も柔らかく、次々と花が咲き実をつけてくれます。そのため、追肥も忘れずにしています。

先日、テニス仲間が蕎麦打ち会をしましたが、そのなすで「なすの鳥肉そばろ煮」を作ってみたところ美味しいと好評でした。

《7月後半～8月前半の農作業》

◆7月21日：空芯菜(写真-2)が順調に生育し、寒冷紗のトンネルを取り除きました。きゅうりといんげんは収穫が終り、全て抜き取りました。トマトの実は大玉系がほぼ収穫終わりですが、ミニトマトは多く実が着いています。なすの株はバランスよく育ち、上述のように理想的に育っています。しかし、なすの側枝の整枝法を教わったのですが、すっかり忘れてしまい、次年度の課題となりました。万願寺トウガラシは品種に似合った大きさにまで待つて採るようにしたいです。

◆8月2日：ねぎの溝(写真-3)に堆肥と化成肥料を薄く入れて、土で軽く根を覆います。その上に収穫後の枯れたとうもろこしを敷き藁代わりに溝に入れました。人参(写真-4)は発芽が出揃ったので、寒冷紗を剥がして、分岐部下まで土寄せをしました。里芋(写真-5)の株間に化成肥料を追肥し、茎の分岐部分より下まで土盛りをしました。また、葉の裏側にアブラムシがいたので殺虫剤を散布する。なすに5回目の追肥をしました。

《8月後半～9月の作業予定》 昨年の経験より

◆8月中旬／トマト、きゅうりの畝にある支柱等を撤去して、カブ・チンゲンサイ・水菜の畝をつくります。その後、耕した畝を園主さんが土壤消毒します。

◆8月下旬／大根・白菜の播種とキャベツの植付けをします。また、その日は農薬の使い方の講習があります。

◆9月上旬／チンゲンサイ・カブ・春菊・水菜を播種し、ブロッコリーの植付けをします。

◆9月下旬／万願寺トウガラシ・なす・ピーマンを抜き取り、支柱を取り除いて、ホウレンソウ・小松菜の畝をつくります。この畝も園主さんが土壤消毒します。

トピックス テニス仲間のUさんに本農園を紹介したところ、春から私の区画の近くで楽しく農作業を始めました。最近、Uさんは当農園で採れた野菜をたっぷり入れた弁当を自分で作り、出勤しています。農園のお蔭で、毎月の昼食代が1万5千円も浮いたと、大変喜んでいました。(古津)



写真-1 収穫が順調ななす



写真-2 生育が揃った空芯菜



写真-3 期待が高まる根深ねぎ



写真-4 土寄せした人参



写真-5 土盛りした里芋

[目次へ戻る](#)

お知らせ

GPEC出展報告

7月23日(水)～25日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催されたGPEC(施設園芸・植物工場展)に、グループ会社と共同で出展しました。

GPEC公式サイト:<http://www.gpec.jp/>

連日多くの方にご来場いただき、弊社ブースもおかげさまで大変な賑わいでした。当日はTSP*の紹介を含め、各グループ会社の製品やサービスについても担当者から直接ご説明し、理解を深めていただきました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



★TSP(トータル・ソリューション・プロバイダー)とは:<http://www.i-nouryoku.com/link/tsp.html>

富岡八幡宮例大祭に参加しました



8月17日、富岡八幡宮(東京都江東区富岡)で、3年に1度の例大祭が行われました。住友化学本社からも地元「越二町会」の一員として有志が参加し、大神輿を担いで歩きました。

富岡八幡宮の祭礼は寛永19年(1642年)が始まりとされ、江戸三大祭りの一つに数えられています。特に3年に1度の本祭りには、氏子各町50数基の大神輿が勢揃いし、連合渡御を行う姿は圧巻です。また沿道の人々から清めの水が威勢よく浴びせられることから「水かけまつり」とも言われ親しまれています。

参加者みな全身ずぶ濡れになりながらも、最後まで元気良く担ぎ切りました。慣れない神輿担ぎは大変でしたが、やはりこのお祭りを見るものではなく参加するものだと実感しました。

[目次へ戻る](#)

美味しい時間へようこそ♪

相談室から佐伯がお送りします
 食べることは生きること。
 美味しいとはなんと幸せなことが。
 日々の美味しい話を思いつくままお届けします。



たまには上げ膳据え膳で

8月のお盆休みは山梨県の高原へ出かけました。娘が生まれてから久々の遠出です。高原の涼しい風や清々しい景色も楽しみでしたが、今回は何と言っても道中の食事が楽しみでした。というのも、育児をしながらの食事って、毎日大変なんです。娘用の食事を作るのと同時に大人用の食事を作る（その間、娘は足にまとわりつき・・・(笑)）用意ができれば、一緒に食卓について食事をする（が、まだ自分では食べられないので娘に食べさせつつ自分も食べる。当然バタバタ(笑)）終われば片づけする。と、まあこんな感じ。ということで、たまには上げ膳据え膳で食事を楽しみたい～！というのが本音でした。

1泊2日の旅行で楽しんだのは、まず蕎麦。これもこの旅の楽しみでした。小淵沢の道の駅でいただいたのが「延命蕎麦と季節野菜天ぷら」のセットです。八ヶ岳高原で採れる蕎麦を地元で伝わる昔ながらの手法で打ったものを延命蕎麦というらしいのですが、ありがたいネーミングのおお？香り高い美味しい蕎麦でした。天ぷらには地の野菜が供されましたが「つるな」の天ぷらが珍しく、これまたここでしか食べられない一品でした。



延命蕎麦と天ぷら



手作りミートローフ

宿泊した宿では、料理上手なご主人が腕を振るってくれました。

宿泊したのはいわゆる「高原のペンション」でした。今回は、お盆前ギリギリに「行く！」と決めたので、宿を取るのに苦労しましたが、たまたまこの宿が空いていてなんとか予約できました。泊ってみるとこれが大当たり！ウェブサイトには「料理自慢の宿」とあり、実際どうなのかな～？と思って来たのですが、料理は手作りで味もやさしくどれも美味、加えてスタッフの皆さんもアットホームで、なんというか料理上手の親戚の家に遊びに来た感じなのです。夕食のメインのミートローフが絶品でした。

翌日は県営牧場に立ち寄りしました。牧場と言えば、そう！「ソフトクリーム」です。もちろん食べましたよ。そして牧場ならではの厚切りベーコンもいただきました。宿での朝食がちょうど良い量だったので、お昼までのおやつにこれらを食べることができました（これが朝食を食べ過ぎると入らない！）。お昼ご飯は、南清里の道の駅でカレーをいただきました。カレーも美味でしたが一緒に出てきたサラダに野菜がたっぷり入っていて美味しかったです。新鮮な高原野菜の瑞々しさがたまりませんでした。

こうして夢の上げ膳据え膳の1泊2日は終わりました。

帰路は中央道の大渋滞にはまり大変な思いをしましたが（苦笑）、とても楽しく美味しかった旅行でした。あ、そうそう、各地で寄った道の駅で地の野菜を買い込んできました。その顛末は次号にて紹介します。（佐伯）



そうめんうり



バターナッツ
かぼちゃ

購入した
野菜たち

他にもトマトやこどもピーマンを買いました。

[目次へ戻る](#)

マーケティング部
木村の

気ままに鉄道 SWIM BIKE RUN バーチャルトライアスロンの旅

Vol.12

趣味のトライアスロンの練習距離を手持ち距離として全国の鉄道を気ままに旅するこの企画。今回は大分県別府市の別府大学駅から鹿児島県鹿児島市の喜入(きいれ)駅まで進みました。

7月もデスクワークが多いかな?とっていたのですが、北海道に2回出張する機会があり、大規模で栽培される畑作物や、大型農機をみることができ大変参考になりました。また、東京ビッグサイトで開催された「GPEC:施設園芸・植物工場展」では弊社ブースでの説明係をさせていただきました。数あるブースの中で弊社ブースを訪問してくださいました方々に感謝申し上げます。さて、7月のトライアスロンの練習距離ですが、前月をずいぶん下回り、スイム 4.5km、バイク 0km、ラン 20km で手持ち距離は200km となりました。原因は、①長引く梅雨と、②突き指です(休日に息子をドッジボールしていた際に右手の薬指を痛めてしまいました。指全体がしばらく紫色でした)。歳をとると反射神経が鈍ると同時に体の柔軟性も失われていきます。これからは記録を伸ばすことよりも、いかに怪我をせず、現状維持していくか?という点に注意して練習していきます。

それでは喜入駅周辺をレポートしましょう! 喜入で一番目立つのはなんといっても JX 日鉱日石油基地です。昨年、鹿児島に出張した際には近くの指宿(いぶすき)スカイラインをよく車で通ったのですが、途中の展望台から見える壮大な石油基地には目を見張りました。JX 日鉱日石油基地のホームページで調べてみると、この石油基地の広さは 1,918,000 m²あるそうです。私どもの業界的(?)に言えば、191.8 町歩ですね! この石油基地には 3 つの機能(①備蓄機能、②中継機能、③ブレンド機能)があるらしく、①の備蓄能力は、日本の石油消費量の約 2 週間分に相当するという事でした。相当量の石油を備蓄できるものだと感心する一方で、たった 2 週間で限りある石油をこれだけの量消費していることに驚かされました。この喜入の石油基地ですが、ホームページ上でバーチャル基地見学ができますので(もちろん実際の見学もある)、興味ある方は一度のぞいてみてください。石油流出を防止するオイルフェンスは普段海中にあり、タンカーが接岸した際に浮き上がってくるなどおもしろい情報満載です!

それでは、旅を進めましょう! 先月に続き指宿枕崎線を南へ進み、イッシーが住んでいると言われる池田湖を右手、開聞岳を左手にして枕崎駅に到着します。指宿枕崎線はここが終点で、これより先は鉄道がないためにここで折り返します。再度、鹿児島中央駅まで戻って鹿児島本線へと乗り換えます。鹿児島本線を北西方面へ進み、川内(せんだい)駅で肥薩おれんじ鉄道に乗り換え、少し進んだところが今回の終着駅「薩摩高城駅」です。本駅は鹿児島県薩摩川内市にある駅で難読駅で知られています。何と読むと思いますか? 答えは次号で紹介しますので、楽しみに!

※ 手持ち距離 = (SWIM 練習距離 × 26.6) + (BIKE 練習距離 × 1) + (RUN 練習距離 × 4)



進路概要

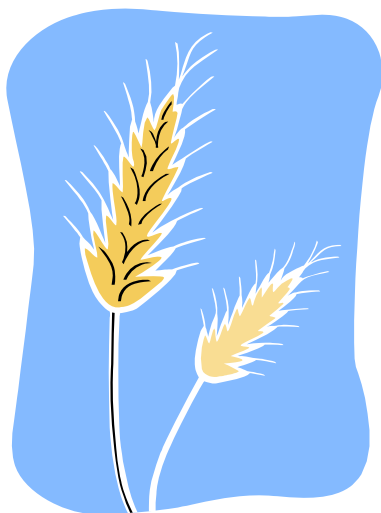
(一部正確ではないところがあります)



麦の収穫時期を告げる木村

[目次へ戻る](#)

～ 編集後記 ～



今回、麦用スーパーSR コート肥料の取材で、初めて収穫前の麦圃場を訪問しました。本州では麦の収穫は6月ですが、6月は水稻が盛りで麦についてつい忘れてしまいます。今回やっと収穫前の圃場を訪問し生育状況を聴取した次第です。今回の訪問でいろいろなことを学びました。麦は水稻以上に個々の畑での生育差が大きいイメージを持っていましたが、今回訪問した滋賀県彦根市および福井県大野市ともにどの麦畑も生育が良好で、たわわに熟した麦穂が風にゆられていました。また、大麦と小麦を比べると、大麦の方が熟期は早く、熟した麦の色は大麦で白っぽいこと、遠目からも畑の色の違いで大麦か小麦か判断できること、こんなことも初めて知りました。現地圃場を訪問すると、毎回、新たな発見や学ぶことがあります。

(泉)

今回の「農家さん訪問」では、宮崎県の四位農園さんを訪れました。訪問前に「日本で一番大きな農家さんだよ」と伺っていましたが、確かにお話を伺ってびっくりしました。農作物の生産、販売から食品加工まで、しかも冷凍食品の製造販売までされているのです。私は、「これからの農業は6次産業化だ」といرونなところで見聞きしていましたが、「なるほどこれがそうなのだ」と分かった気がしました。四位さんの世の中が求めるものは何なのかという「探究心」、それを実現させる「実行力」、そして、ISOやグローバルGAPのような安全や品質の世界標準を取り入れるという「先見性」、これらは農業を生業とされている人たちのみならず、私にとってもこれから成長するために本当に必要なものだ痛感しました。

今回の訪問で1つ心残りだったのは、宮崎に行ったのに「宮崎牛」も「宮崎地鶏」も「マンゴー」も食べるができなかったことです。是非、この次はと、もう1つ心に誓って帰路につきました。

(品質保証室 藤田)



次月号の - 農力だよりは
9月30日(火)の発行予定です。
どうぞお楽しみに！！

[目次へ戻る](#)